



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています。ご意見をお寄せください。

日本共産党荒川区議会議員 斉藤くに子 区政ニュース

メール: arajcp@tcn-catv.ne.jp 区議団 <http://www.jcp-arakawakugidan.jp/>
くに子ブログ <http://s-kuniko.jugem.jp/>



2025年6月29日 No.1386

区役所直通 3802-4627

fax 3806-9246



★無料法律・生活相談会★

弁護士定例相談は第四月曜日

7月28日(月) 18時～

★北千住法律事務所での直接の相談予約も取ります。

★生活相談は随時随時に対応します。ご連絡ください。

荒川区荒川7-37-1(コミバス花の木停留所前)

Tel/Fax 3806-5134

定例法律相談は予約制として密の状況をつくらないようにしたいと思います。

宜しくお願い致します。

①18:00～18:30

②18:40～19:10

③19:20～20:00

事前にご連絡ください。

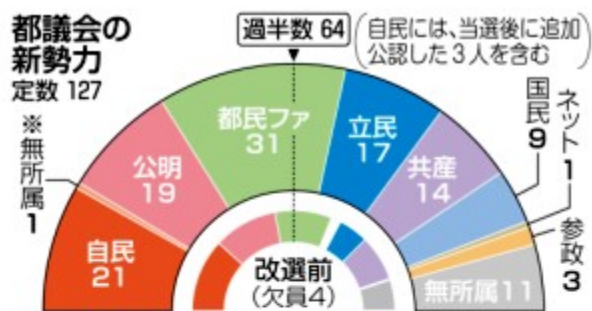
スウェーデン国家と同じ財政力 東京に福祉の心を取り戻したい

	2025年	2021年
当日有権者数	168,941人	168,970人
投票率	48.13%	43.10%
有効投票数	80,077	71,577
【当】さいとう 和樹 (都ファ・新)	19,016 23.75%	17,138 23.94%
【当】けいの 信一 (公明・現)	16,398 20.48%	19,493 27.23%
町田 たかし (自民・新)	16,266 20.31%	14,249 19.91%
小林 ひろし (共産・新)	10,825 13.52%	11,885 16.60%
南 貴大 (再生・新)	8,994 11.23%	—
山川 ゆうな (無所属・新)	8,578 10.71%	5,023 7.02%
諸派	—	3,789 5.29%
無効票	1,225	1,253

22日投票で都議会議員選挙が終了。期間中はお騒がせしました。

荒川区は定数2に6名が立候補し、結果は表のようになりました。

滝口区長の後継として出馬した都民ファーストの新人と、公明現職が自民新人を僅差で上回り当選。共産党は残念ながら及びませんでした。

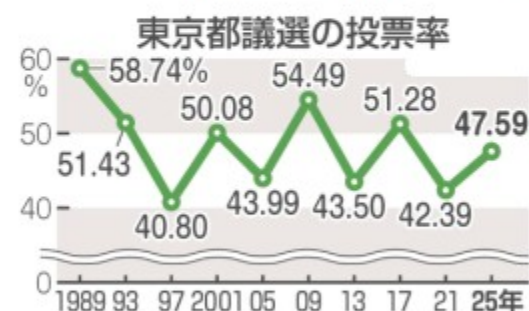


東京都全体では図のような結果となっています。

投票率 投票率は東京都47.59%
5割に届かず (前回比5.2p増)

荒川区は48.13%(同5.03p増)で前回よりアップ。それでも半数以上が投票に行っていない現状です。

物価高騰の中で生活に手一杯、政治に期待が持てないという方も多い。



日本共産党が訴えた都民の住まいの支援に家賃補助や都営住宅の増設、小中学校の教員の増員、福祉職員の処遇改善と運営支援、地域交通の充実、銭湯の支援など実現して、誰もがいきいきと暮らせる東京都に！今後の都政、住民目線でしっかり監視を！

障がい者グループホーム 西尾久3丁目に整備へ

荒川区は重度障がい者も入居できるグループホームを新たに整備することを決めました。用地は東京都から取得済みです。

障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、重度障がい者を受け入れ可能なグループホームを整備します。

障がい者の方々、ご家族の方々から長年にわたり求められており、日本共産党区議団も度々議会で取り上げてきました。昨年度には尾久生活実習所保護者会から陳情も出され、議会で採択されました。ようやく実現に向けて動き出します。

予定地 西尾久3丁目26-2(551.34㎡)
東側隣地の駐車場(590.19㎡)も借りられるよう交渉中とのことです。

運営方法 民設民営(区は事業者へ用地を貸付け、事業者が施設を整備し運営する)

整備機能 滞在型グループホーム(定員20名予定)と併せて、地域に不足する機能を整備する方向で検討し、公募までに決定する。

＜整備機能案＞短期入所 医療的ケアに対応できるもの。施設入浴(ご自宅に入浴が困難な方向けのサービス)。日中一時支援(トワイライトサービス/夕方から夜にかけて、活動や入浴、食事等を提供するサービス)

障害者の皆さんの生活の場所も、福祉サービスもまだまだ足りません。新設予定のグループホームへのご意見など、是非当事者のみなさんの声をお寄せください。



＜今後の予定＞

2025年6月下旬 都有地引渡し 住民説明会
11月 公募
2026年3月 事業者決定 ～ 基本設計
2027年度～2028年度 工事

区立小中学校のテント 区教育委員会が予算化

5月24日には区立小学校の運動会、5月31日には区立中学校の運動会（雨天で順延された学校もありました）が行われました。

春に運動会を行う学校が多くなっていますね。春といっても気候変動で暑さ対策が必須です。

昨年までは、PTAなどから寄贈された学校にはテントがありましたが、生徒用のテントまで準備できない学校もありました。昨年6月の時点では、運動会春開催27校のうち、児童・生徒用のテントがなかったのは9校、秋開催7校で、児童・生徒用のテントを持たない学校は3校でした。

2024年6月本会議一般質問で日本共産党の北村議員が、暑さ対策と気候変動対策の推進について問い、運動会などの小中学校屋外イベントには児童生徒席にもテントを設けることを求めています。

区は令和5年度予算で各校ごとにテント購入費用を捻出。必要な学校はテントを購入することができるようになりました。



荒川区の伝統工芸技術展



4月17日にリニューアルオープン。利用者のご要望にお応えし、ボール遊び広場を新たに整備。



砂場やブランコの他、複合遊具と回転遊具は誰もが分け隔てなく遊べるようにつくられたインクルーシブ遊具。

改修前から植えられていたケヤキをシンボルツリーとし、周囲にテーブルやベンチを設置。

トイレを新しくするとともに、かまどベンチなどの防災設備を整備。

ジョイフル三の輪弁天市は毎回、瑞光公園リニューアル記念盛りだくさんの内容です。

縁日、紙芝居、グルメなど子どもから大人まで楽しめるイベントです。

中島弁財天詣もどうぞ。

2025年に放送された香取慎吾主演・フジテレビ木曜劇場「日本一の最低男※私の家族はニセモノだった」はジョイフル三の輪商店街で撮影されました。現在もポスターが貼ってあるようです。

三ノ輪商店街の総菜店を継いだ一人息子や伝統工芸育成に悩む師匠の物語。映画「あらかわミラクルLOVE!」もジョイフル三ノ輪が舞台。



「あらかわの伝統技術展」は昭和55年度から開催してきた、職人の技の祭典です。荒川区内在住の伝統工芸技術保持者を中心に、荒川マイスターなど多くの職人が一堂に会し、伝統工芸技術の素晴らしさをご紹介します。実演や、作品を通じて、奥深い技の世界を堪能することができます。

また、「職人体験コーナー」、記録映像を観ながら、職人さんの話が聞ける「職人よもやま話」、荒川区の産業・観光・交流都市の紹介、「荒川の匠育成事業」の紹介（若手職人コーナー）などを実施しています。